

① 救急であることを伝える

② 救急車に来てほしい住所を伝える

住所、施設名などあらかじめ記載しておく

アレルギー 緊急時対応 マニュアル

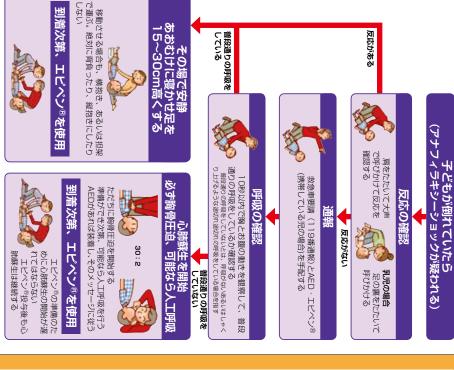
◆その際、救急隊が到着するまでの応急手当の方法などを必要に応じて聞く

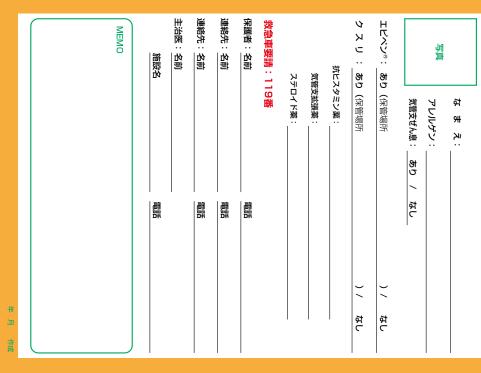
X ヘキリトリ線>X

食物アレルギーの症 状が出てしまった時の 緊急時の対応をまとめ たマニュアルです。

必要事項を記入し、 キリトリ線で切り取っ て、三つ折りにすると 持ち歩くことができる サイズです。保護者や 子どもが携帯しておく だけでなく、保育所や 学校に渡しておくのも よいでしょう。







アレルギー症状への対応の手順



□のゴを置がしも付けのたる □持続する強い咳き込み 緊急性が高いアレルギー症状はあるか? □犬が吠えるような咳 □息がしにくい □声がかすれる 呼吸器の症が □脈が触れにくいまたは不規則 □尿や便を漏らす □暦や爪が青白い □意識もうろう □ぐったり

□持続する (がまんできない)

□繰り返し吐き続ける

強いお腹の痛み 消化器の症状

緊急性が高いアレルギー症状への対応

□ゼーゼーする呼吸 (幅息と区別できない場合を含む)

- ① ただちにエパペン。を使用する
- ② 投稿車で要請する(119番通報)
 ③ その場で安静にする(下記の安静を保つ体位参照)
 ④ その場で救急隊を待し
 ⑤ 可能なら内服薬を飲ませる

区応がなく ・ 早吸がない 心肺蘇生を行う

エピペン*が2本以上ある場合(呼びかけに対する反応がある) 反応がなく 呼吸がない

エアペン®を使用し 10~15分後に症状 の改善がみられない場 合、次のエアペン®を 使用する

安静を保つ体位

吐き気・おう吐がある場合 ぐったり・意識もうろうの場合

嘔吐物による窒息を防ぐため顔 と体を横に向ける

なれない場合

緊急性の高い症状の出現 少なくとも5分ごとに 症状を観察する 症状チェックシート 従い判断し対応する 安静にできる場所へ 移動する 内服薬を飲ませる には特に注意する

呼吸が苦しく何向けに



呼吸を楽にするため上半身を 起こし後ろに寄りかからせる

血圧が低下している可能性が あるため仰向けで足を15~

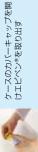
30cm高くする

Hポペン®の使い方

- ◆それぞれの動作を声に出し、確認しながら行う ◆注射をするときには、必ず子どもに声をかける

① ケースから取り出す

介助者がいる場合



② しっかり握る

介助者は、子どもの太ももの付け根と膝を しっかり押さえ、動かさないように固定する

> オレンジ色のニードルカバー を下に向け、グーで握る 'グーで' 握る!

③ 安全キャップをはずす

なり

★ももの外側の筋肉に注射する (真ん中(例) よりやや外側で、 太ももの付け根と膝の間の部分)

仰向けの場合

●衣類の上から、打つことができる

注射する部位



青い安全キャップをはずら



した後すぐに抜かない! つけたまま5つ数える

Hアペン® を大ももかの難し (1) 確認する 使用前 使用後

オレンジ色のニードルカバー 伸びていない場合は「④に戻る」 が伸びているか確認する

打った部位を10秒間マッ ⑥ マッサージする サージする X^キリトリ線>X

座位の場合

二年代列 □中等度のお腹の痛み □1~2回の層口□1~2回の下層□1~5回の下層

□顔全体の腫れ □まぶたの腫れ 1つでもあてはまる場合 上記の症状が 画・ 画・ の 宗状

□数個のじんま疹 □部分的な赤み □軽度のかゆみ ① 内服薬を飲ませエピペ ○全身に広がるじんま疹
○全身が真っ赤 強いかゆみ ただちにエピペン®を

症状チェックシート

- ◆迷ったのエピペン®を使用する
- ◆症状は急激に変化する可能性がある
- ◆少なくとも5分ごとに症状を注意深く観察する

● の症状が1つでもあてはまる場合、エピベン®を使用する (内服薬を飲んだ後にエピベン®を使用しても問題ない)

□尿や便を漏らす□脈が触れにくいまたは不規則□唇や爪が青白い □意識もうろう 全身の症状

□数回の軽い咳 □のどや圏がしめ付けられる □連続する強い咳き込み □犬が吠えるような咳□息がしにくい □ゼーゼーする呼吸 □声がかすれる 平板器の前状

□軽い(がまんできる)お腹の痛み □連続する強い(がまんできない) お腹の痛み □繰り返し吐き続ける 消化器の症状

□□の中の道档感、唇の腫れ□
□へしゃみ、摩光、摩がまり 皮膚の症状

) 少 な く と も 1 時 間 は、 5分でとに症状の 変化を観察し、症状の 改善がみられない場合 は医療機関を受診 | つでもあてはまる場合 安静にし注意深く経過観察 ① 内服薬を飲ませる ③ 医療機関に到着するまで 少なくとも5分ごとに症 状の変化を観察──の症 状が1つでもあてはまる 場合、エピペン®を使用 ②速やかに医療機関を受診 救急車の要請も考慮 ン®を準備 **⊚** ② 救急車を要請 (119番) ③ その場で安静を保つ 4 その場で救急隊を待つ ⑤ 可能なら内服薬を飲ま ただちに救急車で 医療機関へ搬送